

# ピンクリボンNEWS

2024年度

春号

Vol.13 No.1

発行人 認定NPO法人 J.POSH

編集 ピンクリボンNEWS 編集委員会

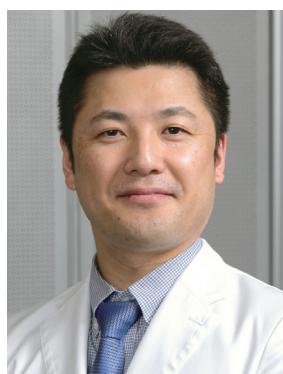
発行所 J.POSH事務局〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号 TEL.06-6962-5071


 J.POSH  
 日本乳がんピンクリボン運動®

## TOPICS

### 日本乳癌学会の若手グループ(MIRAY1)の活動について

～サマーセミナーの活動を中心に～



福島県立医科大学  
乳腺外科学講座

立花 和之進

日本乳癌学会への新入会数は2010年をピークに減少しています。これからの日本の乳癌診療の未来を考えていく上で、人材の確保や育成は大変重要な課題であることが浮き彫りとなっています。日本乳癌学会では、2023年にこれらの問題解決のため、日本乳癌学会会員サービス小委員会主導のもと、全国の若手学会員53名で構成されたMIRAY1(Multi Institutional bReast cAnceR Young team No.1) (みらいわん)という若手医師の会を2023年に立ち上げました。MIRAY1は乳癌診療を支える若い人材、若手乳癌診療医、メディカルスタッフ一人一人が、希望ある乳癌診療の未来を描ける世界を実現するために、活動することになりました。



第31回日本乳癌学会学術総会委員会企画での集合写真

MIRAY1の活動の一つとして、全国の医学生、初期研修医を中心としたセミナーを企画しました。これまで学会主催でのセミナーはなかったため、まずは乳癌診療に興味を持っていただくこと、そして、全国の若手医師同士が地域の枠を超えて交流できる場を提供することが重要と考えました。

企画内容として…

- ①医学生、初期研修医を対象とした対面式でのサマーセミナーを実施し、乳癌診療の魅力アピールすることで、乳癌診療医としてのスタートアップやキャリア形成を支援する。
- ②サマーセミナーでは、乳房超音波検査、針生検体験、電気メス体験、縫合体験などのハンズオンセミナーを行うとともに、乳癌診療に携わる医師としてのキャリアプランについての講演やグループワークでの症例検討を行う。
- ③アンケートを実施し、今後のセミナーに向けての改善点を検討する。

上記の3つの内容で企画したところ、無事に日本乳癌学会の理事会で承認されたため、いよいよ

【次ページへ続く】

第一回のサマーセミナーを開催するための準備がはじまりました。セミナーは、MIRAY1の公式LINEやポスターにより告示しました。

会の概要です

- \* 時期：2023年9月9日(土)
- \* 場所：ふくしま医療機器開発支援センター  
(福島県郡山市)
- \* 募集人数：30名
- \* タイムスケジュール：

10時00分～ イントロダクション、セミナーの説明、自己紹介など

10時30分～ ハンズオンセミナー

- ・縫合実習
- ・電気メス体験
- ・乳房超音波検査と針生検体験

13時00分～ レクチャー

- ・増田慎三先生「日本乳癌学会はみなさまの熱い志を応援します。」
- ・増田紘子先生「MIRAY1があなたのキャリアアップをサポートします。」

14時10分～ グループワーク

16時30分～ 修了式+アンケート



ハンズオンセミナー：豚の胸壁を用いた皮弁作成の練習



ハンズオンセミナー：ファントムを用いての針生検練習



グループディスカッション：ディスカッション内容の発表の練習

第一回ということもあり、手探りの状況での準備となりました。しかしながらMIRAY1のチームメンバー、ふくしま医療機器開発支援センターの担当者、日本乳癌学会の事務の方々すべての方が同じ方向を向き、若手のために良いものを作り上げていきたいという熱意のもと、短期間ではありましたが準備が進みました。

前日に福島県に台風が到来し、どうなるかわからない状況でしたが、無事にサマーセミナーを開催することができました。ハンズオンセミナー、グループディスカッションも非常に盛り上がりを見せ、参加者の方々のエネルギー、講師の先生方のパッションがうまく溶け込んだという感触がありました。

終了後のアンケートでも、参加者の方の満足度は非常に高く、今後継続していくべきとの思いを強く持ちました。

今回のサマーセミナーでは、開催時期や時間の配分など、実際おこなってみての改善点が浮き彫りとなりましたので、第二回以降で改善しながらよりよい会としていきたいと考えています。



終了後、参加者28名とスタッフの全体写真



## 東京ソワール 女性社員多く、乳がん検診受診を推奨

### 婦人フォーマルウェアの製造・販売で設立55周年

株式会社東京ソワール(東京都中央区、代表取締役社長:小泉純一、東証スタンダード市場上場)は、婦人フォーマルウェアの製造・販売並びにアクセサリ類を販売。

創業者が着物に代わる格式高い礼服として“ブラックフォーマル”を考案。以来専業メーカーとして業界を牽引し、今年で設立55周年を迎えられました。

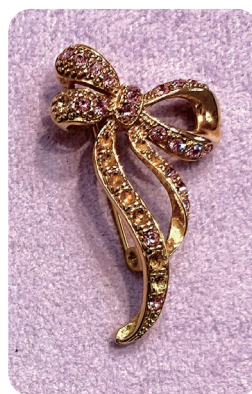


カラーフォーマル(写真右)とブラックフォーマル(写真左)

現在は、百貨店や量販店、ショッピングセンターなどでの販売のほか、ネット販売にも力を入れていらっしゃいます。同社の社員は約210人で、うち約6割が女性。このほか全国で約980人の販売員は全てが女性。こうしたことから、全社的に乳がん啓発に力を入れており、2008年11月にはJ.POSHのオフィシャルサポーターに登録されました。平日を忙しく過ごす女性社員には「ジャパンマンモグラフィーサンデー(JMSプログラム)」での検診も推奨されています。オリジナルのリボン型ブローチを制作し、社員に販売。その売上を寄付してい

ただきました。

これまでの活動は、社員や家族などによるピンクリボンウォークイベントへの参加。2019年には設立50周年を記念してイメージキャラクター『ソワレちゃん』が誕生。ピンクのドレスにピンクのリボンをつけているソワレちゃんは「ピンクリボン運動」を想起させます。ネット上のLINEスタンプで愛用されているほか、冠婚葬祭などでの基本的な礼儀作法・マナーなどの伝授といった分野でも活躍しています。



オリジナルのリボン型ブローチ

イメージキャラクター「ソワレちゃん」



ブラックフォーマルを開発した同社は、追求し続けた“黒”の持つ可能性とエネルギーを、自分らしく生きるすべての方へ届けたいという思いから、黒豆、黒酢、黒米などといった黒の食材を使った健康的な食品の展開などライフスタイル事業kuros'も開始。経営の多角化も進めていらっしゃいます。



ライフスタイル事業kuros'. 黒色の食材を使い「健康」を考えられた食品

## J.POSHオフィシャルサポーター

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)を通じてピンクリボン運動をご支援いただいている企業・法人・など各種団体の一覧です。

 <p>東京海上日動 あんしん生命</p>	 <p>yoga works ここちいいヨガ、ここから。</p> <p>有限会社ヨガワークス</p>	 <p>international Frau</p> <p>株式会社フラウ・インターナショナル</p>	 <p>プロポーショナルづくりのダイアナ Diana Solution for Life</p> <p>株式会社ダイアナ</p>	 <p>バルーガクリニック BELLUGA CLINIC</p>
 <p>M+TC Mammoplus TAKEO CLINIC</p> <p>医療法人健康会マンモプラス竹尾クリニック</p>	 <p>日産プリンス山梨</p>	 <p>スルガ銀行</p>	 <p>TAKAZONO 株式会社 タカゾノ</p>	 <p>NISSAN 日産プリンス茨城</p>
 <p>ChApord シャポード</p>	 <p>Benefit Station</p> <p>株式会社ベネフィット・ワン</p>	 <p>ノイエス株式会社</p>	 <p>エルスメディカ名古屋</p>	 <p>SOLUTION for your life ... for your business ... 株式会社オフィストゥーワン</p> <p>株式会社オフィストゥーワン</p>
 <p>人も地球も健康に Yakult</p> <p>株式会社ヤクルト本社</p>	 <p>TOKYO SOIR 東京ソワール</p>	 <p>高木金属工業株式会社</p>	 <p>中部飼料株式会社 CHUBU SHIRYO CO., LTD.</p>	 <p>朝日生命</p>
 <p>品川美容外科</p>	 <p>SUNTORY SUNTORY FLOWERS LIMITED サントリーフラワーズ株式会社</p>	 <p>社会医療法人財団 池友会 福岡和白総合健診クリニック</p>	 <p>株式会社アキヤマ</p>	 <p>京都奉製株式会社</p>
 <p>3A-life</p> <p>スリーエー・ライフ株式会社</p>	 <p>JFR CARD JFR GROUP</p> <p>JFRカード株式会社</p>	 <p>日産プリンス 札幌販売株式会社</p>	 <p>空気を洗う壁紙 ルノン株式会社</p>	 <p>サカタのタネ</p>
 <p>co-op コフアツリ</p> <p>わたしたちは コープデリ グループです。 食卓を笑顔に、地域を豊かに。</p>	 <p>JML 中日本 INK 中日本メテカルリンク株式会社</p>	 <p>hugge bridal sweet and luxually bridal inner</p> <p>株式会社ローズ・サプライ</p>	 <p>くわや</p> <p>株式会社くわや</p>	 <p>JAPACK'S</p> <p>株式会社ジャパックス</p>
 <p>fit me Fitme 女性の為の「医療用ウィッグ」 「フィットミー」</p> <p>フェザー株式会社</p>	 <p>笑顔と感動の架け橋を CEHR'S good healthy life</p> <p>株式会社シールズ</p>	 <p>T-PEC</p> <p>ティーベック株式会社</p>	 <p>RITSUBI LEADING BEAUTY INNOVATION</p> <p>株式会社リツビ</p>	 <p>大木産業株式会社</p>
 <p>Activate Power of Fashion iDA</p> <p>株式会社 iDA (アイ・ディ・エー)</p>	 <p>ビーンスターク Bean Stalk</p> <p>雪印ビーンスターク株式会社</p>	 <p>美しく、大人を生きる。 WIG YUKI SINCE 1975</p>	 <p>YONESAKA ESTHETIC GROUP 米坂エステティックグループ</p>	 <p>heartpia は〜とびあ 新潟日産モーター</p>

 <p>暮らしを変える、明日を変える 株式会社エル・ローズ</p>	 <p>株式会社HEAVEN Japan</p>	 <p>グンゼ株式会社</p>	 <p>THE WORLD THE WORLD株式会社</p>	 <p>ミドリ安全株式会社</p>
 <p>日本製紙株式会社</p>	 <p>伸栄商事株式会社</p>	 <p>高信化学株式会社</p>	 <p>日本生活協同組合連合会</p>	<p>医療ビジネス専門学校</p>
 <p>株式会社ワコール</p>	 <p>メドライン・ジャパン合同会社</p>	 <p>旭川リハビリテーション病院</p>	 <p>ヘルセンタースタッフ株式会社</p>	 <p>株式会社HRC</p>
 <p>けやき美容クリニック沼津院 KEYAKI BEAUTY CLINIC NUMAZU</p>	 <p>MTコスメティクス株式会社</p>	 <p>エコロシティ株式会社</p>	 <p>株式会社 北里コーポレーション</p>	 <p>株式会社スクロール</p>
 <p>ティーライフ株式会社</p>	 <p>あなた色に輝く日々を なないろ生命 朝日生命グループ</p>	 <p>株式会社コープ東北保険センターあおもり支店</p>	 <p>ニチモバイオテックス株式会社</p>	 <p>明治安田生命</p>
 <p>社会医療法人 鶴仁会 岡山中央病院</p>	 <p>学校法人 医学アカデミー</p>	 <p>株式会社スノーヴァ</p>	 <p>滋賀日産</p>	 <p>株式会社マリコロレ</p>
 <p>株式会社 香家</p>	 <p>カシオ計算機株式会社</p>	 <p>SBI損害保険株式会社</p>		

## J.POSHオフィシャルパートナー

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)を通じてピンクリボン運動をご支援  
いただいている営利を目的としない患者会・協会・組合・などの各種団体の一覧です。

 <p>乳がん患者会「関西ひまわりの会」</p>	 <p>神和温泉 神温泉郷 温泉観光局</p>	 <p>藤沢ラグビー蹴球倶楽部</p>	 <p>全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 女性経営者の会</p>	 <p>京都薫風ライオンズクラブ</p>
<p>塩原温泉旅館協同組合 女将の会</p>	 <p>一般社団法人日本グルーデコ協会</p>	 <p>一般社団法人日本姿勢協会</p>	 <p>川越市 最明寺</p>	 <p>NPO法人日本ハウスクリーニング協会</p>



## ホテルセイリュウ『湯ったりキャンペーン』に当初から参加

### スタッフは主旨理解し 当選者受け入れに万全

「乳がんの手術痕が気になり、もう温泉に行けない」とあきらめておられる皆さんに「ご家族で1泊2日の温泉宿泊をプレゼントしよう」とJ.POSHが2013年度から始めた『家族で湯ったりキャンペーン』。キャンペーンに参加して下さる「温泉・大浴場を有する旅館・ホテル」は年々その数を増しており23年には23施設まで拡大しています。当初からご参加頂いている施設は少なくありませんが、『ホテルセイリュウ』さん(東大阪市上石切町、土方啓詔社長)も経営者の強い社会貢献意識もあり、2014年から継続して参加して頂いています。

J.POSHは2010年4月から「胸のキズ痕を隠すための専用入浴着を着用して入浴できる温泉施設」のネットワーク作りを始めました。参加施設は年々拡大した背景もあり、同ネットワーク参加施設の協力を得て、13年から無償で1泊2日の宿泊を抽選でプレゼントするキャンペーンを開始しました。協力施設も増加していますが応募者も増加している為、ご希望に添えない皆さまが増えていることをJ.POSHとしましては、少々心苦しく思っているところでもあります。



「大阪・奈良の中心部から30分。天然温泉の建物から眺めることができる大阪平野の眺望は値千金」などが売りの同ホテルは、宿泊だけでなく日帰り入浴、昼夜のバイキング料理など、客足が絶えることはありません。自治会や企業の団体のお客様を送迎するバスも人数に合わせて、大小4台が稼働しています。全国各地から修学旅行やスポーツ・勉強合宿に利用される方々も受け入れておられます。

スタッフは現在166人在籍で女性は6割。西本千亜紀営業部部長は「スタッフはみな専用入浴着に関してはよく理解して対応してくれます。また湯ったりキャンペーンのお客様への対応もキャンペーンの主旨をよく理解して接してくれています」と話しています。入浴着の貸し出しについては一般のお客様も「事前にお知らせいただくとお部屋にご用意させて頂いています」ということです。



# 大阪府レディースバドミントン連盟、ピンクリボン活動展開

## 全日本で優勝、常連、

大阪府レディースバドミントン連盟(廣瀬園子会長、竹田由美子理事長=連盟員約1500人)は、大阪府内(7ブロック)のバドミントン愛好者がプレーを楽しむ女性の集まり。1974年7月に「第1回大阪府家庭婦人バドミントン親睦会」を開催したのをスタートに、以後毎年、団体戦や個人戦を繰り返し広げています。2000年4月には現在の呼称に改称し7ブロックが地域対抗戦などを実施中。前期・後期各団体リーグ戦、個



竹田理事長(写真手前)はかつて実業団で活躍した実績を持つ

個人戦などを開催しているほか、全国ベース(連盟員約17500人)で開かれる「全日本レディースバドミントン選手権大会」に参加し、“優勝の常連”の実力をほこっています。

24年1月末、同連盟の竹田由美子理事長ほか役員の方々がJ.POSH事務局(大阪市鶴見区)にご寄付をお届け下さいまし



ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2023(エディオンアリーナ大阪で)

た。2013年から毎年お寄せ頂いていますが、ご寄付を始めたきっかけは「国際親善大会での各国選手団との交流」といいます。この大会は大阪府レディースバドミントン連盟が主管しヨネックスが冠協賛する「ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会」のことで、中国・韓国・マレーシア・カナダ・タイ・香港・台湾などの国と地域の選手が参加しています。参加国のチームの中には乳がん啓発に力を入れている国があり、そのことに刺激を受け、「社会貢献活動の1つとしてピンクリボン活動を展開しよう」と、J.POSHを支援することを決めたそうです。国際親善大会のたびに乳がん啓発ブースを設置し、参加者や観客向けにJ.POSHの啓発パネルの掲示や触診モデルの展示、啓発ティッシュの配布など展開していらっしやいます。



国際親善大会ではJ.POSHの啓発パネルと触診モデルを展示



## 事務局からのお知らせ

### 認定NPO法人継続の 審査を終えました

J.POSHは2014年3月20日に認定を取得しました。認定取得後は5年ごとに認定の期間延長の申

請をし、審査を受ける事となっています。そしてこの度、2回目となる更新の審査を受け、無事、認定NPO法人として継続出来ることとなりました。認定NPO法人である事により、ご寄付を下るさ皆様には、所得税控除を受けて頂く事が出来ます(確定申告が必要)。これからも、皆さまから頂くご寄付への想いに沿える活動ができるよう精進して参ります。

### 送料を値上げさせて頂きました

HPの「お知らせ」でもすでに発表致しましたが運送各社の値上げの影響を受け、令和6年4月1日より、J.POSHから貸出のパネルや触診モデルの送料を一定金額のご負担を頂く事と致しました。また、グッズ等の送料につきましても、当初から一律200円としておりましたが、かなりの赤字状態の為、一律500円に変更させて頂きます。そして大変恐縮ではございますが、北海道、沖縄への発送はプラス1000円の1500円とさせて頂きます。啓発活動、奨学金等の支援活動を続ける為にも、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

#### 改定後送料

##### 【啓発パネル】

- 本州・四国・九州地方：¥2,000(税込、両サイズ共通)  
※パネルのみ貸出の場合は¥1,000(税込、両サイズ共通)
- 北海道・沖縄・離島：¥3,000  
※パネルのみ貸出の場合は¥1,500(税込、両サイズ共通)

パネル貸出にかかる費用 =

上記送料 + 返却送料(貸出先→J.POSH)

##### 【啓発グッズ】

- 本州・四国・九州：¥500(税込)
- 北海道・沖縄：¥1,500(税込)

## ピンクリボンNEWSあとかき

2024年の年明けは、元旦に能登半島で震度7の大地震が発生という波乱の幕開けとなりました。『津波が来ます、すぐに逃げて下さい、す



ぐに逃げて下さい。TVなど観ていないですぐに逃げて下さいっ』とアナウンサーが繰り返し絶叫。切迫感、緊迫感が滲んでいました。日が経つにつれ被害の大きさは筆舌に尽くしがたい惨状が広がるばかり。心よりお見舞い申し上げます。翌二日、今度は羽田で航空機事故が発生。JAL機と海上保安庁機の衝突による事故で、滑走路上で燃えさかる大型旅客機の火災映像を見て、最悪の事態を想定せざるを得ませんでした。が、幸いなことにJAL機の乗客・乗員全員が無事に脱出。各方面から『奇跡だ』と賛辞が寄せられました。一方で5人の海保機乗組員が亡くなられま



した。同機は前日の震災支援のフライトの途中といい、何とも痛ましい事故。二度と起きぬよう願うばかりです。地震は地球

の営みがもたらす自然災害。一方、事故は人間の引き起こす人為災害。災害にいつどこで遭遇するかは誰にも分かりませんが『明日は我が身』という心構えだけは必要のようです。『人生には予期せぬことが起きる』。災害や事故だけでなく、自身の体に降りかかる病気もしかり。もし、『がんです』と告知されたとしたら、あなたは何を思い、どう振舞いますか。「明日は我が身」と頭で理解していたつもりでも、実際に直面したら…。仏教の『無常』という概念が浮かんできました。「この世の中の一切の物に永遠不変はない。人生ははかないものだ」という教えです…。(I.T)